

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和3年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】			
整備箇所	新庄市五日町 地内		事業主体	山形県
整備面積	9.5ha	樹種	スギ	林齢
整備内容	<p>当該箇所は、長期にわたり管理が放棄されたため、下刈り後の手入れがされておらず、著しく成長の悪い不良な木が目立つ状態であった。</p> <p>そのため、本事業により適正な密度となるよう間伐等の手入れを行うことで、今後は森林の持つ公益的機能の維持増進が期待できる。</p>			



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】			
整備箇所	最上郡大蔵村大字合海 地内		事業主体	山形県
整備面積	13.79ha	樹種	スギ	林齢
整備内容	<p>当該箇所は、植栽後から間伐や除伐といった手入れが行われておらず、スギが過密状態で生育しており、成長の悪い不良木や雪害等の被害木が多い状態であった。</p> <p>そのため、本事業により間伐等の手入れを行うことで適正な密度となるよう整備を行い、今後は森林の持つ公益的機能の維持増進が期待できる。</p>			



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和3年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 （間伐・抜き切り、下刈、つる切り） 】				
整備箇所	最上郡最上町大字若宮 地内			事業主体	最上町
整備面積	0.37ha	樹種	スギ	林齢	57~71年生
整備内容	<p>当該箇所は民家に隣接しているが、林内は低木類や蔓が繁茂するなど、野生動物が身を隠す空間となっており、近隣ではクマやサル等の目撃が頻発するなど、住民生活を脅かす状況となっていた。</p> <p>そのため不良木の伐採、低木類の刈払等を実施し、見通しのよい森林に整備したことにより、野生動物との緩衝帯としての機能を発揮できるようにした。</p>				



整備後

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 （間伐、下刈、つる切り） 】				
整備箇所	最上郡戸沢村大字神田 地内			事業主体	戸沢村
整備面積	1.0ha	樹種	スギ	林齢	26~89年生
整備内容	<p>当該箇所は、長期間下刈りや間伐等の整備が行われておらず、人と野生動物を隔てる区域が曖昧になっており、イノシシ等の出没による農作物被害等が発生している状況であった。</p> <p>そのため、林内の下草の刈払い、不良木の伐採等を行うことで、農地に野生動物が寄りにくい環境を整備することができた。</p>				



整備前

整備後